

# 【8/3観察会追加プログラム】魅せる！現場 平城宮跡・東楼復原工事

奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場



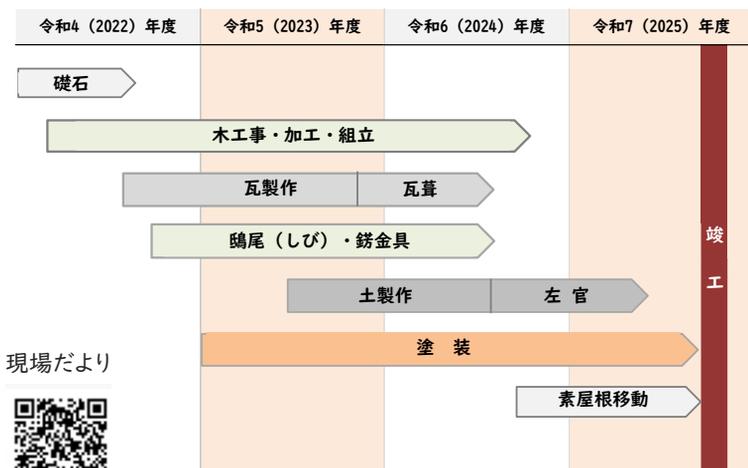
## さぁ行こう！～魅せる！現場～

8/3の「ツバメのねぐら入り観察会」参加者向けに追加プログラム～魅せる！現場～を開催します。現場内で宮大工をはじめとする伝統技能職人の仕事に触れる可能性もあります。ご興味のある方は観察会申込時に併せてお申し込みください。

## 今、知りたい～現場進捗～

「現場だより」では、この東楼の工事現場より「今、何が行われているか」を定期的にお知らせします。

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kyoei/works/mis'erugenba/index.html>



公園内でも、ひときわ目を引くのが朱雀門、第一次大極殿(正殿)、大極門(南門)などの復原建造物。復原には古代建築の伝統技能を継承する様々な分野の多数の工匠の技・経験・知識が活かされており現在、東楼の復原工事が完成に向かっていきます。

### ■申し込み先

8/3「ツバメのねぐら入り観察会」にお申し込みいただく際と一緒に申し込みください。

※電話の場合は、スタッフに魅せる！現場にも参加希望であることをお伝えください。

※イベント申込フォームの場合はイベント名に「ツバメのねぐら入り観察会・魅せる！現場」とご記載ください。

### ■場所

・平城京跡歴史公園内（東楼復原工事現場）  
<https://www.heijo-park.jp/information/access/>

・集合場所：復原事業情報館南側トイレ付近  
※観察会の集合場所と同じです。

### 見学実施時期

2024年8月3日(土) 16:00～17:30

### 見学対象

・ツバメのねぐら入り観察会にご参加の方で、ご希望される方

・対象 小学生高学年以上（安全上ヘルメットを被っていただきます）

※ツバメのねぐら入り観察会が中止の場合は魅せる！現場も中止になります。





# 「魅せる！現場」って何をみれるの？

歴史的木造建造物をつくるため受け継ぐ伝統技術の技（伝統建築工匠の技）である木工・装飾・彩色・本瓦葺・縁付金箔製造などが復原工事で活用されています。「魅せる！現場」では、それらの技が工事の進捗により間近で見学することが出来ます。

## 1 加工原寸場 原寸・型版・模型作成

原寸図とは設計図から軒や梁の曲面、木材の仕上がり具合を原寸大で床に描きます。原寸図から型版を製作し、仕上がり具合を確認するため模型を製作。複雑な図法を駆使して描く技は宮大工の棟梁の技の神髄です。

※屋根の原寸図やしびのBIM模型も展示しています。



模型作成  
仕上がりを確認

### 巧みの技

大工道具も古代から伝えられている道具で加工



## 2 素屋根内で復原建物見学

加工原寸場で各部材を加工し、素屋根内の現場で組立。反りを持った軒の納まりや丸材の接合や墨付けを正確に手で刻むのが工匠の技の見せどころです。また大屋根への組立は、高い技能を必要とする宮大工の技です。

※素屋根とは、屋根や作業床を設けることで、風雨の天候にされず、安全に作業できるように設営された鉄骨の工所用仮設建築物です。



最大級の長さの柱  
宮大工による組立

最大級の長さの梁  
宮大工による組立



## 3 解説・質問タイム

施工者によるモニター等を使った丁寧な説明。見学日によっては職人も含めた質疑応答など、伝承される技術のすばらしさをお伝えします。



※この見学会では理解向上のため、極力少人数10名~30名の参加者による説明会を基本としております。



会によっては職人と話せる場合もあります

モニターを使って解説



## 交通アクセス

